

# 2025（令和7）年度 甲斐市立玉幡小学校 学校教育目標・学校経営方針

学校教育目標

『知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成』

校訓

『なかよく』 『かしこく』 『たくましく』

目指す児童像

- 助け合う子ども
- まじめに努力する子ども
- はげんで学ぶ子ども
- たくましい子ども

学校経営方針

## 『学びあい 想いあい 笑いあえる学校づくり』

◎すべての基盤：学級経営の充実【居場所のある学級づくり】

○よりよい人間関係づくり ○達成感の獲得と自己肯定感の醸成

- 1 児童や地域の実態をふまえた効果的な教育課程の編成と実施・改善に努める。
- 2 より良い授業づくりと学習環境の整備を通して、確かな学力の育成に努める。
- 3 生活規律を大切にし、思いやりの心を育む学級・学校づくりに努める。
- 4 児童の体力向上・健康の増進に努める。
- 5 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の実施に努める。
- 6 児童の安全・安心な生活を守り、保護者や地域に開かれた学校づくりに努める。

## 具体的な取り組み

- 1 児童や地域の実態をふまえた適切な教育課程の編成及び実施と改善に努める。
  - ① 学習指導要領及び創甲斐教育推進大綱の趣旨を生かした、児童や学校の実態に応じた教育課程の編成及び実施と改善。
    - ◆「生きる力」を育む教育の実施・改善 ◆モジュールを活用した全学年の国語力向上
    - ◆「外国語・外国語活動」「特別の教科 道徳」「プログラミング学習」の実施・改善
  - ② 幼稚園・保育園・中学校との連携を考えた教育課程の編成及び実施と改善。
    - ◆園児や中学生との交流推進 ◆合同研究会、情報交換会等の充実 ◆出前授業等の活用
    - ◆専科指導（専科教員）の有効的な実施
  - ③ 各教科（道徳科を含む）、総合的な学習の時間、学校行事を含めた特別活動など、横のつながりと異学年間の縦のつながりを考えた効果的な教育課程の編成及び実施と改善。
    - ◆教科・領域の横断的な学習 ◆異学年間の交流学习や活動
  - ④ 全教育活動を通じた体系的なキャリア教育の推進
    - ◆「キャリアパスポート」の有効活用 ◆福祉体験及び福祉教育の充実
    - ◆お店探検や様々な施設見学 ◆職業調べ ◆特別活動・体験活動の充実
  - ⑤ 学校内外の教育資源の活用と体験活動の充実
    - ◆学校応援団「チームたまはた」（ゲストティーチャーやボランティアの方々）の有効活用
    - ◆PTA との連携 ◆外部の専門家や組織の活用
    - ◆校外の教育施設や学習素材を使った学習の推進
  - ⑥ グローバル化、情報化に適應できる資質能力を育成する教育活動の推進
    - ◆効果的な外国語教育の推進（パフォーマンス評価の充実）
    - ◆郷土や我が国の歴史、風土、文化等に関する教育の推進（「ふるさと山梨」の活用）
    - ◆情報活用能力及び情報モラルの育成

## 2 より良い授業づくりと学習環境の整備を通して、確かな学力の育成に努める。

- ① 学習意欲の向上や基礎基本の定着を意識した授業づくり
  - ◆学校教育支援員等による TT や少人数指導の工夫
  - ◆「サマースクール」の取組
- ② 「玉小スタイル」の定着
  - ◆『やまなしスタンダード』の視点に沿った授業づくり
  - ◆「めあて」「振り返り」を明確にした板書の工夫 ◆言語活動の充実
  - ◆「玉幡小学校学習ルール」の徹底 ◆共通したノート等の指導
- ③ 『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な授業づくり
  - ◆学習者が主体となる授業づくり ◆他者との協働的学習の場づくり
  - ◆目的意識を持って、粘り強く取り組む態度の育成
- ④ ICTの有効活用
  - ◆GIGA スクール構想を活かし端末を有効活用した授業づくり
  - ◆配慮が必要な児童への端末の有効活用
- ⑤ 家庭学習の習慣化
  - ◆「家庭学習の手引き」「がんばるカード」「学びの甲斐善八か条」の活用
  - ◆児童用端末を活用した家庭学習の推進
- ⑥ 授業力向上のための研修や授業研究の充実
  - ◆校内研修の充実 ◆OJTの取組を生かした実践研修
  - ◆「一校一実践・一人一実践」の取組 ◆人事評価の授業観察の活用
- ⑦ 豊かな感性の育成（読書活動の充実）
  - ◆「読書活動」の効果的実施 ◆読み聞かせの取組 ◆「家読」の推進 ◆全校合唱の取組

## 3 生活規律を大切に、思いやりの心を育む学級・学校づくりに努める。

- ① 集団生活のルールやマナーの徹底
  - ◆「学校・児童のきまり」の徹底 ◆「甲斐っ子の宝」の推進 ◆全校集会の活用
  - ◆玉幡小3つの宝「ノーチャイム」・「無言清掃」・「日本一のろう下」の取組
  - ◆あいさつ運動の推進
- ② 自己有用感・自己肯定感・安心感の得られる学級・学校づくり
  - ◆日常及び学級活動・児童会活動等による取組 ◆「ハイパーQ.U」の活用
- ③ いじめ、不登校の早期発見と迅速・組織的な対応・指導
  - ◆「学校いじめ防止基本方針」に基づく指導と見直し ◆いじめ調査の実施
  - ◆ケース会議の実施と共通理解による組織的対応強化
- ④ 個々の児童の心に寄り添った生徒指導と保護者との緊密な連携
  - ◆「笑顔で声かけ」と「共感する姿勢」の推進
- ⑤ 児童会を中心とした仲間づくりや集団づくり
  - ◆月ごとのめあてづくり ◆縦割り班活動
- ⑥ 校内生徒指導委員会の充実と外部機関との連携
  - ◆児童の状況のきめ細かな共通理解と組織的対応の充実
  - ◆SC, SSW, 相談機関や専門機関等との連携や活用
- ⑦ 全教育活動を通しての道徳教育の推進
  - ◆年間指導計画に基づく「特別の教科 道徳」のより良い授業づくりと評価の実施
  - ◆道徳授業及び道徳教育の地域への積極的な発信

#### 4 児童の体力向上・健康増進に努める。

- ① 自ら適切な行動を取ることができる具体的・実践的な指導の充実
  - ◆日常の健康観察・保健指導の充実 ◆家庭と連携した健康安全への取組
  - ◆児童会活動，委員会活動等と連動した呼びかけ，集会，掲示物等の活用
  - ◆感染症に対する正しい理解
- ② 運動の日常化による基礎体力づくり
  - ◆体育的行事の計画的実施 ◆「健康・体力づくり一校一実践運動」の取組
  - ◆業間体育の取組
- ③ 基本的な生活習慣の確立と保健安全教育の充実
  - ◆健康診断・保健指導の充実 ◆たよりや掲示物，集会の活用
- ④ 教科や給食指導における食育の充実と実践
  - ◆たよりや掲示物，集会の活用 ◆給食週間の取組
  - ◆教科指導や給食指導における食育の推進

#### 5 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の実施に努める。

- ① 児童の実態に応じた特別支援学級の効果的な運営
- ② 通常学級に所属している配慮が必要な児童への支援
- ③ 校内特別支援委員会の活用
  - ◆校内特別支援委員会での実態把握・改善案の共通理解
  - ◆個別の教育支援計画・指導計画の作成
- ④ 保護者や関係機関との連携
  - ◆ケース会議の開催 ◆外部の専門機関や関連行政機関との連携

#### 6 児童の安全・安心な生活を守り，保護者や地域に開かれた学校づくりに努める。

- ① 防災，防犯，交通安全教育の推進と安全管理体制の充実
  - ◆交通安全教室・自転車教室の実施 ◆起震車・煙体験の実施 ◆防犯講話
  - ◆防犯ボランティアとの連携 ◆危機管理マニュアルの充実と実効性への改善
- ② 様々なケースに対処するための防災訓練，緊急時対応訓練の実施
  - ◆地震・火災想定避難訓練 ◆洪水想定避難訓練 ◆不審者対応訓練
  - ◆救急救命法訓練 ◆緊急時対応訓練 ◆引き渡し訓練
- ③ 学校評価や各種アンケートを生かしPDCAサイクルによる学校運営・教育内容の改善
  - ◆自己評価・学校関係者評価の実施 ◆児童・保護者アンケートの実施
  - ◆行事や取組後の教職員，保護者，児童対象のアンケートや反省会の実施と総括，改善
- ④ 各種たより，ホームページ，玉小メールなどによる情報発信
  - ◆学校通信・学年通信・学級通信・保健だより・給食だより・図書だより等の発行
  - ◆ホームページでの教育内容の積極的発信や玉小メールを使った緊急連絡の活用
- ⑤ 学校開放日，授業参観，学校行事への招待など教育活動の積極的公開
  - ◆「運動会」「道徳公開授業」「教育を語る会」や学年行事への参加呼びかけ
- ⑥ 学校運営協議会・PTAとの連携
- ⑦ 玉幡児童館及び「玉幡さわやか第3教室」とセミナーハウスとの連携

#### 特色ある学校づくりの柱

- ☆玉小スタイルによる授業づくり ☆地域の教育力の活用 ☆縦割り班を活用した集団づくり
- ☆玉幡小3つの宝「ノーチャイム」「無言清掃」「日本一のろう下」の取組 ☆甲斐っ子の宝の推進
- ☆実践的な防災訓練・緊急時対応訓練